

※第1章実習問題の解答はありません。

## 第2章 実習問題（解答例）

※解答は2013年9月時点のものです。

### 例題

例題1. 次の資料について、東北大図書館本館内の配架場所と請求記号を調べる。

樋口という著者が執筆した「憲法」という書名の図書で、東北大学内に所蔵があるもののうち、最新版のもの

解答. 本館内の配架場所：本館2F 学閲 等  
請求記号：AZ-213/0615 等

例題2. 次の資料の配架場所と資料番号を調べる。

高瀬博文. カーボンナノチューブを用いたポリマーコンポジット. 粉体工学会誌. 2004, vol. 41, no. 11, p. 822-828.

解答. 配架場所：工学分館 3F 和雑誌 等  
資料番号：03055002455 等

### 図書

問題1. 生殖医療または生命倫理に関する図書を集めたい。OPAC の学内検索と学外検索の結果を比較する。それぞれ何件ヒットするか。

解答. 学内検索：例：313(複合語分解時 403) 件  
学外検索：例：365(複合語分解時 500) 件

問題2. 次の資料を検索し、東北大学内の配架場所と請求記号を調べる。

P. W. Atkins, R. S. Friedman, *Molecular quantum mechanics*, 3rd. Ed., New york, Oxford Univ. Press, 1997, p. 262.

解答. 配架場所：北青葉山分館 1 階図書  
請求記号：PA47/165

問題3. グローバル企業に関する図書を幅広く探したい。どのような検索方法が効果的か。

検索方法（どのように検索したか）	キーワード（検索で用いた語）	ヒット件数
例：検索条件＝全ての項目から 論理演算子＝OR	例：グローバル企業 多国籍企業	例：202
例：検索条件＝全ての項目から 論理演算子＝OR	グローバル企業 世界企業（企業提携, 企業系列...）	504
例：検索結果→図書詳細画面で 分類をクリック （検索条件＝標準分類）	335.5（分類）	660

様々な調べ方があるので、1例としてこの2つを紹介します。

## 雑誌

問題4. 次の資料は東北大学で所蔵しているか。また他大学で所蔵しており、かつ継続して購入している館はどこか。

雑誌『大学の図書館』の7巻5号

解答. 東北大学所蔵: あり or なし

所蔵している大学:

東工大小金井, 阪市大, 松山大図, 大正大,  
フェリス, 広文大, 淑徳女子, 青学相模原,  
九女大, 横市大など。  
末尾に[+]のマークがあり、  
7や7(1-5)等という記載があるもの

問題5. 次の資料は東北大学で所蔵しているか。所蔵していない場合は、学外の所蔵館を1つ挙げよ。また、この文献の雑誌名は何か。電子ジャーナルの閲覧は可能か。

K. Barnham, J. L. Marques, J. Hassard and P. O' Brien, Quantum-dot concentrator and thermodynamic model for the global redshift. *Appl. Phys. Lett.*, **76** 9 (2000), pp. 1197-1199.

解答.

東北大学所蔵: あり or なし

所蔵している大学: \_\_\_\_\_

雑誌名: Applied Physics letters

電子ジャーナル: 閲覧可能

### 第3章 実習問題（解答例）

#### 雑誌論文

問題 1. CiNii Articles の検索でヒットした次の資料について、下記項目を調べて下さい。

入手方法については、入手出来る方法が確認できればよいので。電子ジャーナルで入手出来る場合は冊子体の所在を確認する必要はありません。

中山間地域に居住する高齢者の地域生活とQOL評価の関係：高齢者のQOL向上に向けた福祉のまちづくりに関する研究

**Correlations between social life and QOL of elderly persons living in mountain villages: a study of the effects of rural planning on community development and the welfare improvements in terms of QOL of elderly persons**

**タイトル**

**三宮 基裕**  
Sannomiya Motohiro

九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科  
Department of Clinical Welfare Service, School of Social Welfare, Kyushu University of Health and Welfare

**井上 孝徳**  
Inoue Takanori

九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科  
Department of Clinical Welfare Service, School of Social Welfare, Kyushu University of Health and Welfare

**川崎 順子**  
Kawasaki Yoshiko

九州保健福祉大学社会福祉学部スポーツ健康福祉学科  
Department of Sports Health and Welfare, School of Social Welfare, Kyushu University of Health and Welfare

**著者名**

この論文を読む／探す

[CiNii PDF](#) [CiNii 論文PDF - オープンアクセス](#) [医中誌Web](#) [医中誌 Web](#)  
[NDL-OPAC](#) [NDL-OPAC - 国立国会図書館で本をさがす](#) [CiNii Books](#) [CiNii Books - 大学図書館でさがす](#)  
[LINK](#) [他のフルテキスト候補をみる](#) [OPAC](#) [OPAC](#)

**本文リンク**

抄録

This study examined the impact of rural planning on community development related to improvements in the level of QOL (Quality of Life) of elderly persons. In this report, we conducted a correlational analysis of social life and the QOL evaluation of elderly persons living in the mountainous villages. We interviewed elderly persons living in the mountainous villages regarding their conditions of their social life, and whether they were living alone. In general, elderly persons had low evaluations on QOL on health and use of facilities for travel. The elderly persons who had high QOL evaluations had outdoors activities and their families often visited their homes. In order to elevate the quality of life in these settings, it will be necessary to support activities outside the home and to build a system that facilitates for travel without constraint. This could be an effective method to increase periodic visits from their families, which would enhance the level of QOL for these persons.

プレビュー

キーワード

[高齢者](#)  
[生活の質](#)  
[地域生活](#)  
[福祉のまちづくり](#)  
[中山間地域](#)

収録刊行物

**九州保健福祉大学研究紀要** [\[巻号一覧\]](#)  
九州保健福祉大学

**雑誌名**

巻号、ページ数、出版年

著者名	三宮 基裕, 井上 孝徳, 川崎 順子
論文タイトル	中山間地域に居住する高齢者の地域生活と QOL 評価の関係：高齢者の QOL 向上に向けた福祉のまちづくりに関する研究
雑誌名	九州保健福祉大学研究紀要
出版年	2011
巻号数・ページ	Vol. 12, p.31-38
入手方法	電子ジャーナル <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">有</span> 無 学内所蔵（冊子）有・無（所在： ） 他大学所蔵 有・無 複写依頼をする 図書館で相談する

問題 2. CiNii Articles で以下の論文を探して、下記項目を調べて下さい。

1995 年よりも前に書かれた神戸市長田区のまちづくりに関する論文

著者名	今野 裕昭
論文タイトル	都市の住民運動と住民組織--神戸市長田区真野地区の「まちづくり」運動
雑誌名	東北大学教育学部研究年報
出版年	1986
巻号数・ページ	No. 34, p. 51-106
入手方法	電子ジャーナル <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 学内所蔵 (冊子) <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 (所在 : ) 他大学所蔵 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 複写依頼をする 図書館で相談する

問題 3. CiNii Articles で以下の論文を探して、下記項目を調べて下さい。

塩卓悟氏の書いた「宋代における肉食の普及状況」という論文

著者名	塩卓悟
論文タイトル	宋代における肉食の普及状況--南宋期・江南の事例を中心に
雑誌名	集刊東洋学
出版年	1998
巻号数・ページ	No. 79, p. 69-86
入手方法	電子ジャーナル <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 学内所蔵 (冊子) <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 (所在 : 本館 2 号館等) 他大学所蔵 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 複写依頼をする 図書館で相談する

## 第4章 実習問題（解答例）

### 新聞記事

**問題 1.** フードロス（まだ食べられる食品が大量に捨てられている社会問題）に関する最近の動向・NPO による支援の事例を集めたい。「聞蔵 II」を使って、6 ヶ月以内に掲載された記事を探してみましょう。また、掲載された新聞の情報も書き出してください。

（解答例）

使ったキーワード	「フードロス」、「食品ロス」、「食品、廃棄、NPO」 など
記事タイトル（見出し）	消費期限迫る食品、廃棄より提供を 北九州にも「フードバンク」
新聞名	朝日新聞
発行日、朝夕刊、ページ等	2014 年 1 月 16 日、朝刊、北九・1 地方（※福岡県北九州地域面）、25 ページ

※2014 年 2 月 24 日現在のヒット数：

「食品、廃棄」→53 件、「食品、ロス」→45 件、「食品、廃棄、支援」→11 件、  
「食品、廃棄、NPO」→7 件、「食品ロス」→4 件、「食品ロス、NPO」→ 0 件、「フ  
ードロス」→0 件

※類義語、上位語、下位語など、様々な言葉で検索してみるのがコツ。また、記事  
中にある言葉を使って再検索すると、関連記事が見つかることも多い。（例：記事  
中に表れた言葉「フードバンク」で再検索すると 15 件ヒットする）

### 統計

**問題 2.** 問題 1 のテーマについて、関連する統計資料を探したい。「政府統計の総合窓口」（e-Stat）を使って資料を探してみましょう。

解答例

統計名	食品ロス統計調査 備考： 農水省：食品ロス統計調査、食品循環資源の再生利用等 の実態調査 食品ロスの現状（推計値）」等資料もあり 消費者庁：「食べもののムダをなくそうプロジェクト」 サイトに農水省統計へのリンクあり。その他、 様々な事例報告・関連情報あり。
統計を見て、新たに分 かったことを自由にメ モしましょう。	

## 第6章 実習問題（解答例）

### アウトライン

問題 1. 下記の内容のレポートについて、本論のアウトラインを考えてみましょう。

扱う問題	: 地方鉄道の存続に必要なものは何か。
問題意識	: 廃線の危機にある地方鉄道を守ることができる。
着眼点	: 和歌山電鐵の事例を中心に考える。
結論	: 地方鉄道の努力だけでなく、自治体の理解と支援が必要である。

以下に列举した事実・データなどを、より良い本論になるように並べてみてください。回答欄には、③→⑦→②→と矢印で繋げるように記入し、大きな話題のかたまりは線で区切ります。なお、列举した中には不必要な事実・データもあるので、それは回答に入れないよう注意してください。

- ① 地方鉄道の乗客数は年々減少している。
- ② 平成 12 年度以降、全国で 35 路線が廃線となった。
- ③ 地方鉄道の 8 割は経常収支で赤字となっている。
- ④ 和歌山電鐵は「たま駅長」などで話題づくりをしている。
- ⑤ 和歌山電鐵には地域住民を含めた運営委員会がある。
- ⑥ 和歌山電鐵に対する県の補助は、修繕費としての 2.4 億円だけである。
- ⑦ 和歌山電鐵の「いちご電車」は、集めた寄付金で製作された。
- ⑧ 経営再建の成功例と言われる和歌山電鐵でも、近年の経常収支では赤字が増えつつある。
- ⑨ 若桜鉄道では昔ながらの施設を文化遺産としてアピールしている。
- ⑩ 上下分離方式を取り入れた若桜鉄道の経常収支は安定している。
- ⑪ えちぜん鉄道は地域とのコラボレーションを大切にしている。
- ⑫ えちぜん鉄道は、一度廃線となった路線が復活したものである。
- ⑬ えちぜん鉄道に対して、県は 10 年で 39 億円の設備投資費を補助している。
- ⑭ 乗客数や収入を維持しても、古くなった設備の更新費用が負担となる。
- ⑮ 線路等の設備を自治体が保有する上下分離方式も広まっている。

回答欄 (記入例 ① → ② → | ③ → ④ → ……)

回答例 ① → ③ → ② → | ④ → ⑦ → ⑤ → | ⑧ → ⑭ → | ⑥ → ⑬ → ⑮  
→ ⑩

最初の章(①、③、②)で地方鉄道の現状を示し、次の章(④、⑦、⑤)で和歌山電鐵の事例を紹介します。その次(⑧、⑭)でそんな和歌山電鐵でも苦しい状況とその原因を示し、最後に(⑥、⑬、⑮、⑩)その解決策となりそうな事例を紹介しています。

ただしこれはあくまで一例ですので、自分なりにいろいろ考えてみてください。

問題 2. 下記の形式に従って、レポートの構成要素のうちタイトル・序論・本論・結論の内容をまとめて、レポートのアウトラインを作成してください。

■ タイトル：八百長を排すると大相撲の文化が損なわれるのか ー大相撲の複層的構造から考えるー

■ 序論

◇ 扱う問題：八百長を排すると大相撲の文化が損なわれてしまうのか。

◇ 問題意識：八百長を排した上でスポーツとしての良さを高め発展できる。

◇ 着眼点：大相撲が複層的構造を持つという観点から考える。

■ 本論（結論までの論理の流れを整理しましょう。）

◇1：（タイトル・見出し）八百長はスポーツの存在理由を脅かす
・（論じる内容）スポーツの目的は勝利の追求である。
・八百長はその目的を損ね、存在理由を脅かすものである。
・大相撲はスポーツとみなすことができるので、八百長はその存在を脅かす。
◇2：八百長を擁護する思考
・メディア上では八百長を擁護する意見も見られた。
・そこには大相撲は文化的なものであるという考えがある。
・勝利を追求するスポーツの面だけが重視されると、文化的要素が損なわれるおそれがある。
◇3：大相撲のスポーツ的要素
・大相撲ではただ勝つことが良いこととされるわけではない。
・「相撲の型」に則った、より安定的・絶対的な強さを証明することが求められている。
・大相撲のスポーツ的要素は、単なる勝利追求にとどまるものではない。
◇4：大相撲の複層的構造
・大相撲を4層の複層的構造を持つものとする考えがある。
・八百長擁護派の危惧は、勝敗を決する第二層が強調されることである。
・八百長を排することは、「相撲の型」などの第三層の方を涵養することに繋がる。

■ 結論

大相撲は文化的要素もスポーツ的要素も複層的に含んだ存在であり、八百長を排して勝負の質を高めることは、大相撲の文化を損ねることにはならない。

## 文章表現

**問題 3.** 下記の文章を、よりわかりやすい文章に書き直してください。

たま駅長やいちご電車で知られる和歌山電鐵だがそういった話題性だけでなく地元に着したとりくみにも注目すべき点があり沿線市民サポーターもメンバーにくわえた運営委員会があるので会社側と沿線市民の意思疎通向上に寄与しており駅施設のペンキ塗りなどの活動を通してじぶんたちがこの路線を支えているというマイレール意識を持てるようになっているだけでなく社員育成にも力を入れており新会社設立時に地元和歌山の若い人を中心に社員を募集したので生き生きとして活気があって現在は委託している車両や電気設備の保守管理も将来的には自分達でやっていこうと考えているのです。

ヒント：まずは、一つの情報ごとに例文を区切ってみましょう。

回答欄

回答例

---

たま駅長やいちご電車で知られる和歌山電鐵だが、そういった話題性だけでなく、地元に着した取り組みにも注目すべき点がある。例えば、沿線市民サポーターもメンバーに加えた運営委員会の存在が挙げられる。この委員会によって会社側と沿線市民の意思疎通が向上しているのだ。さらに、委員会では駅施設のペンキ塗りなども行っているので、それらの活動を通して、自分たちがこの路線を支えているというマイレール意識を持てるようになっている。

---

また、社員育成に力を入れている点にも注目できる。新会社設立時に地元和歌山の若い人を中心に社員を募集したことにより、生き生きとして活気がある会社になっているのだ。そして、現在は委託している車両や電気設備の保守管理も、将来的には自分たちで行おうと考えているのである。

---



## 第1章 実習問題（解答例）

### 引用、参考文献

問題 1. 次の引用文について、引用の仕方として修正すべき点を指摘してください。

- ① 酒井 ①は以下のように指摘している。

「誰かが調査して報告したからこそ、情報として利用可能になっているのだ。  
ある特定の文献のおかげで知り得たことなので、引用が必要である。他の例も  
見ていこう。  
まずは引用が必要な例からだ。」

つまり、誰もが知っている自然現象や一般常識については引用の必要がなく...

(修正すべき点)

引用文が長く、引用文の前後や左側に空白をとっているので、「」は必要ない。

- ② 酒井 ②は以下のように指摘している。

誰かが調査して報告したからこそ、情報として利用可能になっているのだ。ある特定の  
文献のおかげで知り得たことなので、引用が必要である。他の例も見ていこう。  
まずは引用が必要な例からだ。  
つまり、誰もが知っている自然現象や一般常識については引用の必要がなく...

(修正すべき点)

引用文の前後を 1 行空け、左側を 2~4 文字空けて、引用文だとはっきりわかるようにする必要がある。

問題 2. 次の引用文はレポートの中の一節です。引用文献の情報に下線を、レポート執筆者の意見に波線を引いてください。

- ① 八百長を断固として否定する考え ②は、大相撲をスポーツととらえることに深く関係している。
- ② 八百長を断固として否定する考えは、大相撲をスポーツととらえることに深く関係している ②。

※引用を示す番号を振る場所によって、どこまでが引用箇所なのかが変わったり、わかりにくくなったりしてしまいます。特に要約して引用する場合は、引用箇所のすぐ後に引用を示す番号を入れるなど、注意深く引用してください。

**問題 3.** 次の一文は、石黒圭さんが『論文・レポートの基本：この 1 冊できちんと書ける!』という本の中で引用の問題点について指摘した一節です。この一文を使って、引用文を作ってください。

「論文を読んでいて困るのは、どこまでが他者の引用で、どこからが書き手本人の主張なのかがわからなくなることです。」

↓

（例）石黒によれば、引用の問題点は、「どこまでが他者の引用で、どこからが書き手本人の主張なのかがわからなくなること」<sup>3)</sup>であるという。

（例）引用の問題点について石黒は、「論文を読んでいて困るのは、どこまでが他者の引用で、どこからが書き手本人の主張なのかがわからなくなること」<sup>3)</sup>であると述べている。

※引用文の後は、「～と指摘している」「～と述べている」などの表現を使って、他者の意見と自分の意見を区別しましょう。

<引用文献>

- 1) 酒井聡樹. これからレポート・卒論を書く若者のために. 共立出版, 2007, p. 138.
- 2) はぎのすけ. 八百長を排すると大相撲の文化が損なわれるのか—大相撲の複層的構造から考える—. (全学教育授業「『レポート力アップ』のための情報検索入門」サンプルレポート)
- 3) 石黒圭. 論文・レポートの基本:この 1 冊できちんと書ける!. 日本実業出版社, 2012, p. 199.